

【石井先生 質問&回答】

質問

■木曜日 5 時間目の特別支援研修会の内容は毎週どんな内容を取り扱っておられるのかを知りたいです。

→同じチームになった先生方からの小さな疑問を研修のお題にしたり、特別支援学級として押さえておくべきところを内容にしたりして研修を行っています。

<昨年度、今年度行った研修内容>

特別支援学級の教育課程について

学級調査について(☆本、検定本などの教科書の取扱について)

特別支援学級の授業の流し方について

特性のある児童への対応の仕方について

宿題の出し方について

自立活動の意義について

自立活動の実践例

保護者対応について、個人懇談の持ち方について

人的環境のUDについて

特別支援学級の授業について

■コーディネーターとして、全学級を授業参観されたとのことですが、参観の時間をどのように確保されたのでしょうか?ほとんどの時間、担任している子の授業があります。特別支援学級に在籍しなくて支援が必要なお子さんの実態把握がなかなかできずに悩んでいます。実態としては、担任や支援員さんから情報を得ています。

→本校は校内支援体制を整えるにあたり、特別支援学級担任にも空き時間が設定されています。具体的には、木曜日の5時間を特別支援学級の研修日とし、特別支援学級の子どもたちはすべて交流学級での授業としています。この時間以外に、明確に空き時間を設定していただいていますので、交流学級の担任の先生も理解してくださっていて、空き時間は交流学級で過ごせるような教科、内容を配慮していただいています。その空き時間を使って授業参観をしています。(年度初めはST後補充の先生が来られた時の時間に授業参観を行っています。)

児童の実態を全職員で共通理解する場として、毎週水曜日の連絡会と月に1回の生徒指導連絡協議会で情報をだしてもらっています。

■自己評価表についてです。振り返りや自立ノートをみて、自分の課題を考え、目標にするとありました。自分の課題を見つけるということは、自分を客観的に理解することが必要だと思うのですが、子どもの力だけでは難しいところもあると思います。どのようにして、課題に気づかせて、目標につなげておられるのかを、詳しく教えていただきたいです。また、自立ノートについても具体的に内容を知りたいなと思いました。

→自分の課題を見つけることは特に低学年は難しいです。課題に気付かせるために、指導者側もたくさんある課題から課題をしぼる必要があると思います。事前にこちら側がもっておくことも大切です。また、その課題設定においてのポイントとして、「その課題ができれば集団の中で、今以上にいい生活ができる」そして「あと少しで達成できそうだ。」を考えています。

まずは行動観察→指導者側がある程度課題をしぼり→本人に「〇〇ができたなら、もっとかっこいい1年生になるんだけどな。」というような言葉かけをし、本人が自分で「たしかにそうだ。」と思うことができるような状況を仕組んでいます。プラスしてそれができたときに褒め、価値づけをしていきます。そうすることで、目標を決めるときに子供たちから「これができたらいいと思います。」と出てくることが多いです。こちら側もかなり意識して指導をしているので、こどもから課題としてでてきます。

■石井先生の発表にあった「チームで対応する」ということは、とても大切なことだと思いました。ただ、若い教職員が増えている現在、職員の資質を高めていくことも不可欠です。この点について、学校で工夫されていることや取り組まれていることを教えてください。

→本校は昨年度から交流学級との連携に力をいれて、例えば、交流学級担任が出張のとき、特別支援学級担任が特別支援学級の児童を含めて、交流学級で授業を行うなどしました。

今年度は初任者のクラスに特別支援学級担任が T2 のようなポジションで入り、音楽の授業を特学担任が行っています。初任者の育成を踏まえて徐々に指導主体を初任者に移行させるように考えています。

■自立ノートとは具体的にどのようなものか教えていただきたいです。

→自立ノートは、自立活動で取り組んだことをとじているノートです。行って終わりではなく、また問題行動があった場合にその対応をコミック会話で整理し、今後どうするのかまで考え、振り返りをし、それを視覚的に残しています。

■ルールブックの中身やサイズを知りたいと思いました。

→学校には一般的に当たり前のこととされている、いわゆる暗黙のルールがあります。例えば、教室は学習をするところです。教室では椅子にすわります。学校はチャイムではじまり、チャイムで終わります。廊下は右側をあるきます。学校のものは、借り物です。たいせつに使います。困ったときはこの先生が助けます。友達や先生のからだやものにはさわりません。教室をでるときは「いっていきます」「ただいま」を言います。などです。これを可視化し、ルールカードにしました。就労まで見越して、挨拶、返事、時間を守ることもいれています。サイズは子ども達もっているものは、縦5センチ×横10センチぐらいの大きさになっています。

ご質問ありがとうございました。九州大会で質問に答えることができるように整理して、準備していきたいと思っています。